

(別紙)

## 審査基準

下表の基準に従って審査員が、企画提案資料等について評価の視点をもとに評価した点を合計したものを審査点（100点満点）とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案が複数ある場合は、審査員の多数決により順位を決定する。

なお、審査員の1名以上が内容点の評価項目のうち1項目でも評価点0点とした場合または審査点が50点未満の場合は失格とする。

### 1. 評価項目等

評価項目、評価の視点及び配点は、次のとおりとする。

評価項目		評価の視点	評価点 (5点満点)	係数	配点 (配点×係数)
取組の実現性	経営状況 業務実績等	① ・会社規模、財務状況、業務実績などから業務の執行に支障はないか。	5	2	10
業務実施体制	本業務遂行のための体制	② ・仕様書記載の業務を遂行するための体制は確保されているか。 ・業務のスケジュール提案について、実現可能なものとなっているか。	5	2	10
企画提案内容	企画全体設計	③ ・提案内容全体を通して業務の目的や内容を理解し、県の意図を十分反映したものとなっているか。	5	3	15
	メタバース空間及びリアル空間における作品制作・展示	④ ・作家の過去における同内容の作品や展示会の実施実績等から、県立美術館における展示作家としてふさわしいと認められ、かつ質の高い展示の実現が期待できるか。 ・県立美術館が新たな価値を創造する場として外形的に認識しうる程度に先進的な制作コンセプトを有する作家であるか。 ・これまでの作品のコンセプトや活動が公序良俗に反するものではないか。	5	6	30
	ワークショップの内容の方向性	⑤ ・参加者にとって最先端デジタル技術を活用した創作活動を体験できるものになっているか。 ・ワークショップは教育普及を目的とし、その内容やターゲット（中学生まで）が明確であるか。	5	6	30
	見積額	⑥ ・業務内容に照らし、見積額や積算内訳は妥当か。	5	1	5

[ 審査点 合計100点 ]

### 2. 評価の基準

各評価項目の評価点は、5点満点（最高得点5点、最低得点0点）とする。

- ・特に優れている (5点)
- ・優れている (4点)
- ・普通（基準点） (3点)
- ・やや劣る (2点)
- ・劣る (1点)
- ・要求水準を満たしていない (0点)